

平成 27 年度学生による授業評価にもとづく学長表彰総評

学 長 豊 田 長 康

平成 27 年度学生による授業評価による学長表彰は、まず、学生による総合評価点数の上位者を選び、学長がヒアリングをした上で、他の先生方の授業改善の参考になる取り組みを行っていると思われる場合には、その教員を表彰対象者としました。

今回は、鍼灸学科山本晃久先生、理学療法学科康 鳳麗先生、放射線技術科学科の北岡ひとみ先生の 3 先生が選ばれました。

3 人 3 様のさまざまな授業の工夫をしておられますが、いずれの先生にも共通するキーワードは、学生とのコミュニケーションをととても大切にしておられるという点です。たとえば、康先生と北岡先生は、授業中にリフレクションシートに記入してもらうことにより、学生の意見や要望を常に把握しつつ、日々の授業の改善に生かしておられます。山本先生は、個人面談を密に行うことで、学生一人一人にあった学習指導をしておられます。

また、山本先生は、学生に対して本気で叱ることもあり、学生を甘やかすことはないとのこと。しかし、山本先生は学生から高い評価を得ておられるわけで、ここにも、授業改善のヒントが隠されていると思います。

山本先生の事例は「学生による授業評価の点数を上げようと思えば、学生に甘くすればいい」という考えが、間違っていることを教えてくれます。学生を“甘く”見てはいけません。学生たちの評価はかなりの確です。

かといって厳しくするだけでも学生による評価は上がりません。学生たちと緊密にコミュニケーションをとり、その相互のかかわりの中から得られた情報をもとにして日々の授業改善に生かす粘り強い努力を継続することが、学生による評価を向上させる要であることを今回の表彰対象者は教えてくれています。

(なお、このような学生による授業評価にもとづく学長表彰者の取り組みを「研究紀要」に掲載する理由は、このような授業事例報告が、大学教育に関する研究の一環であると判断したことによる。)

私の教育スタイル

鍼灸学科 山本 晃久

教員と学生の双方が「くりかえす（反復）」「がまんする（忍耐）」「気付く，気付かせる」ことを大切にしています。

プリントや国試問題などを材料にして，教科書に記載されている部分に線を引かせ，その文章を暗記させる作業を行います。この作業を，「くりかえし」，お互いに「がまんして行う」ことによって学生達の苦情から弱点に「気付き」，勉強を意味のあるものにするのは自分の心掛け次第であること，勉強は受身でするものではないことを「気付かせる」努力をしています。また，学生とのコミュニケーションを積極的にとり，出会った時には声をかけ，ダメなことは本気で叱りよう心掛けています。個人面談を密に行い，学習状態や生活環境の把握に努め，学生の弱点やその改善方法に「気付き」「気付かせ」学習方法やスマホ依存など諸問題を改善できるよう努めています。

分かりやすく，楽しく，かつ，力の付く授業を目指して

理学療法学科 康 鳳麗

初回アンケートでニーズ調査と共に，中間リフレクションシートや授業時の質問，提出物を通し，理解の度合いを把握して，それに応えるよう授業を進めている。課及び，当該時限の到達目標を明示した上で，足し算的に，かつ，ゲーム的要素を盛り込んだ授業を心掛けている。例えば，発音の単元時に自己紹介ができるように；発音の単元で覚えた表現を生かしながらフレーズの積み重ねで表現を広げ，前期終了時点までに「予定」が話せるようにと工夫をしている。更に，工夫点は，テンポよく，双方向の授業，発音練習の回数を増やしつつ，対話的コミュニケーションを図り，意欲的な授業参加を促す。また，具体点を挙げて褒める。個人指名時には，習得度に配慮をしたり，答えを黒板に書かせる際には，全員が当たるようにしたりしている。最後に，学びの環境を守るため，私語をしないよう指導する一方で，私語発生の場合には，授業の進行等に隙がなかったか内省している。

授業の取り組みについて ～授業への意識的な参加を目指して～

放射線技術科学科 北岡 ひとみ

学生が授業へ意識的に参加し，多くの情報量の中からポイントを探る授業形式としている。具体的には，事前に分野別国家試験問題を解かせた後，スライドにて授業を行う。問題に目を通しておくことで授業内のキーワードとリンクさせる。何度も出題されている類似問題もすべて並べて解かせることでより重要度を高め，授業中に問題の解説を追加することで，見落とし防止を行っている。また，図やアニメーションを活用し，できる限り視覚に訴える形式を取り入れている。これらにより，国家試験の意識づけ，問題のポイントの明確化を図っている。加えて，学生意見の吸い上げとして授業回ごとに独自のリフレクションシートを用い，100人を超える学生の中で一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしたいと考える。今後も学生の意見を取り入れ，より良い授業を展開していきたい。